

幼小:20 中:24 高:41 舎:14 合計:名99/109名中 回収率:90.8%

No	評価項目	具体的評価項目	良い	やや良い	やや不十分	不十分	無回答	回収率		%	良い	やや良い	やや不十分	不十分	無回答
								90.8	%						
1	学校教育目標	学校教育目標の具現化へ向け教職員が一体となって取り組んでいるか。	47	47	5	0	0		90.8	47%	47%	5%	0%	0%	
2	教育課程	教育課程は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	44	52	2	1	0		90.8	44%	53%	2%	1%	0%	
3	年間指導計画	年間指導計画は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	51	47	1	0	0		90.8	52%	47%	1%	0%	0%	
4	個別の教育支援計画	個別の教育支援計画は、保護者や関係機関等と十分連携が図られ設定されているか。	53	44	2	0	0		90.8	54%	44%	2%	0%	0%	
5	個別の指導計画	個別の指導計画は、幼児児童生徒の実態等に即し、適切に設定されているか。	57	42	0	0	0		90.8	58%	42%	0%	0%	0%	
6	教育計画	幼児児童生徒の実態等に即し、目標や支援方法等に関して、学部や学年会・教科会・ケース会議等において教育計画が十分話し合われているか。	49	46	3	1	0		90.8	49%	46%	3%	1%	0%	
7	指導体制	学年や学習グループ等で教材研究や指導法等を共通理解し、連携を図りながら授業に臨んでいるか。	50	42	6	1	0		90.8	51%	42%	6%	1%	0%	
8	学習指導	幼児児童生徒の実態に応じた教材教具等を工夫し、分かりやすい授業展開をしているか。	46	53	4	2	0		90.8	44%	50%	4%	2%	0%	
9	家庭との連携	保護者等に対し、幼児児童生徒のニーズ等を捉え連携を図り、説明責任を果たす等の対応がなされているか。	58	38	3	0	0		90.8	59%	38%	3%	0%	0%	
10	関係機関との連携	関係機関等に対し、幼児児童生徒の実態やニーズ等を捉え連携を図っているか。	52	45	1	1	0		90.8	53%	45%	1%	1%	0%	
11	交流教育及び共同学習	保護者との協力のもと、学校間交流や居住地校交流等を推進しているか。	27	49	18	5	0		90.8	27%	49%	18%	5%	0%	
12	就学指導(支援)及びセンター校的作用	校内及び地域のセンター校的作用を担い、就学指導(支援)や教育相談の充実に努めているか。	52	43	4	0	0		90.8	53%	43%	4%	0%	0%	
13	進路指導	卒業後に向けた課題意識や就業体験等適切に取り組みされているか。	44	43	10	2	0		90.8	44%	43%	10%	2%	0%	

令和3年度 教職員による学校評価

幼小中高舎

県立名護特別支援学校

幼小:20 中:24 高:41 舎:14 合計:名99/109名中 回収率:90.8%

項目	内容	良い	やや良い	やや	不十分	無回答	良い	やや良い	やや	不十分	無回答
14	校内研修	35	52	10	2	0	35%	53%	10%	2%	0%
15	自立活動	27	51	19	2	0	27%	52%	19%	2%	0%
16	校務分掌	33	56	9	1	0	33%	57%	9%	1%	0%
17	職員会議等	52	43	3	1	0	53%	43%	3%	1%	0%
18	緊急・救急体制	52	45	2	0	0	53%	45%	2%	0%	0%
19	健康・安全・給食	60	37	2	0	0	61%	37%	2%	0%	0%
20	教育環境	53	41	5	0	0	54%	41%	5%	0%	0%
21	職場環境	52	41	3	3	0	53%	41%	3%	3%	0%
22	施設・設備	17	50	26	6	0	17%	51%	26%	6%	0%
23	PTA活動	28	53	15	3	0	28%	54%	15%	3%	0%
24	職員間の連携	29	54	15	1	0	29%	55%	15%	1%	0%

課題抽出(「やや不十分」「不十分」で30%以上の項目)

評価項目	職員からの課題意見(⇒以降はそれに対する職員からの改善策)	回答
No.22 施設・設備	・教室数不足教室が足りない、狭い ⇒(改善策)特別教室の廃止、プレハブでもいいので増設教室数増やしてほしい	教室不足への対応として、令和3年7月21日付付名特第972号により教育庁4課(県立学校教育課・総務課・施設課・教育支援課)へ教室整備の要請をしています。また、令和3年10月29日に直接教室不足に係る要請のため校長、事務長で教育庁へ訪問し関係3課(県立学校教育課・総務課・施設課)に説明を行っています。教育庁施設課担当より必要な教室数と建築場所を決めるよう指示が有りますので、職員と協議し資料を作成したいと考えています。令和4年の生徒数増に係る不足教室の緊急対応として、施設課より教室間仕切の予算を確保したので、2教室(高等部多目的室・視聴覚室)の工事を令和4年3月14日～3月18日に行う予定で進めています。(幼小)現在5つの教室で対応しているので、各学年に1つずつの計6教室を確保したいです。
	・無線LANの範囲、強度が不満。教室を確保してほしい。教室が足りない。 ⇒(改善策)記述なし	情報担当より令和3年12月24日に教育庁教育支援課へ無線LAN増強要請(家庭科棟・窯業室棟・園芸棟)の3箇所にLAN配線をする見積を添付をしています。アクセスポイントの増設については次年度以降(国庫予算等)で検討致します。上記小学部の回答にもあり、令和4年の生徒数増に係る不足教室の緊急対応として、2教室(高等部多目的室・視聴覚室)の工事を令和4年3月14日～3月18日に行う予定で進めています。

幼小:20 中:24 高:41 舎:14 合計:名99/109名中 回収率:90.8%

※各部署で、「やや不十分」「不十分」で30%以上の項目については、各部署で検討を行った。下記の通りである。

(1) 小学部(回答20名)		回答
①課題抽出(「やや不十分」「不十分」が30%以上の項目及び課題意見)		
No.13 進路指導(「やや不十分」「不十分」が35%) ⇒(課題)授業不参加の放送が多い。 ⇒(改善策)引継ぎの行い方を変える。		(中)生徒が離席しないようは環境作り、また離席した際の振り返り等手立てをたてるよう努力します。放送は、生徒の自主性を信じて第1段階授業担当職員が近辺を捜索、第2段階校内放送で生徒自身に呼びかけ、第3段階多くの職員による捜索(校内→校外)となりますので、他学部の先生方にも協力をお願いすることがありますが、その際はご協力お願いいたします。(高)ご迷惑をかけてしまい申し訳ありません。授業のカリキュラム上移動が多く、歩行時の安全上で問題のない生徒に対しては職員が随時付き添えない現状があります。極力放送を控えて対処できるよう生徒の指導をしていきたいと思ひます。(幼小)進路指導について、幼小小学部の段階では日々の学習活動(体験的活動、交流学習、身辺処理、挨拶、人との関わり方等も含めて)の中で取り組んでいる。今後キャリアパスポートの実施に伴い、児童と一緒に職員も「進路指導」についての意識を高めながら指導していく。
No.14 校内研修(「やや不十分」「不十分」30%) ⇒(課題意見)児童下校後、授業準備のため、研修受ける時間を確保するために残業している状況がある ⇒(改善策)研修は大事なので残業は仕方ないのかな・・・		(教務)R4年度の指定研に関しては、研修時間を確保できるよう一斉14:15下校の日も設けました。オンライン研修に関してはR3年度は突然入ってきたものがありました。悉皆研修は2回でした。取捨選択できるものは調整していけたらと考えています。(幼小)公開授業がビデオ視聴となり通常日課となったが、視聴の時間も含めて研修の時間をしっかり確保できるような取り組みが必要である。研修を充実させるためには時間の確保がおこなえるよう、全体でも学部でも工夫できたらよい。 ・次年度は指定研があるため、学校全体で協力しながら、計画的に無理なく実施できたらよい。
No.15 自立活動(「やや不十分」「不十分」45%) ⇒(課題意見)共通理解が学年ごとでしか行われていない。⇒公開授業の検討を異学部で行う。 ⇒公開授業の検討を異学部で行う。		(幼小)「専門的知識」という文言があり、やや消極的な回答が増えた。専門性の向上を図るために、今後外部講師を招いての研修を実施できたらよい。(次年度以降) ・学習指導要領の改定に伴い、教育課程や教科学習、評価の方法が見直されている。そのため、自立活動においてもどのように指導していくかが今後の課題となるので、まずは小学部での取り組みについて話し合い、異学部と意見交換していきたい。
No.22 施設・設備(「やや不十分」「不十分」35%) ⇒(課題意見)教室数不足教室が足りない、狭い ⇒(改善策)特別教室の廃止、プレハブでもいので増設教室数増やしてほしい		教室不足への対応として、令和3年7月21日付け名特第972号により教育庁4課(県立学校教育課・総務課・施設課・教育支援課)へ教室整備の要請しています。また、令和3年10月29日に直接教室不足に係る要請のため校長、事務長で教育庁へ訪問し関係3課(県立学校教育課・総務課・施設課)に説明を行っています。教育庁施設課担当より必要な教室数と建築場所を決めるよう指示が有りますので、職員と協議し資料を作成したいと考えています。令和4年の生徒数増に係る不足教室の緊急対応として、施設課より教室間仕切の予算を確保したので、2教室(高等部多目的室・視聴覚室)の工事を令和4年3月14日～3月18日に行う予定で進めています。 (幼小)現在5つの教室で対応しているので、各学年に1つずつの計6教室を確保したいです。
(2) 中学部 特になし		
(3) 高等部		
①課題抽出(「やや不十分」「不十分」が30%以上の項目及び課題意見)		回答
No.11 交流及び共同学習(「やや不十分」「不十分」34%) ⇒(課題意見)コロナだった為仕方ない。		今年度、高等部1年においては名護高校とビデオレターでの交流を行い、視聴後両校の生徒が感想を記入し掲示する等の学習を行っています。コロナ禍においても可能な交流の方法を模索していきたいと思ひます。
No.22 施設・設備(「やや不十分」「不十分」47%) ⇒(課題意見)無線LANの範囲、強度が不満。教室を確保してほしい。教室が足りない。		情報担当より令和3年12月24日に教育庁教育支援課へ無線LAN増強要請(家庭科棟・養老室棟・園芸棟の3箇所にLAN配線をする見積を添付)をしています。アクセスポイントの増設については次年度以降(国庫予算等)で検討致します。上記小学部の回答にもあるとおり、令和4年の生徒数増に係る不足教室の緊急対応として、2教室(高等部多目的室・視聴覚室)の工事を令和4年3月14日～3月18日に行う予定で進めています。